

1. 理事会の開催

事業を円滑に遂行するため、理事会を年 2 回開催する。

2. 日本財団「WORK! DIVERSITY プロジェクト」を業務受託し、以下の事業を行う。

(1) 全体委員会の開催

- ・財団主催の全体委員会を開催する。年 2 回程度開催。
- ・各委員への交通費支払いを行う。会議室費用及び謝金は財団より支払う。

(2) 企画委員会の開催

- ・企画委員会を開催する。委員会はダイバーシティ就労支援機構が設置する。メンバーについては財団と協議の上決定する。年 8 回程度開催。
- ・各委員への交通費・謝金支払いを行う。

(3) 経済・財政・社会保障収支バランス検討部会

「経済・財政・社会保障収支バランス」と働きづらさを抱える者の就労促進との関係进行分析する部会を開催する。2021 年度は、モデル事業の中間的な成果報告を踏まえ、モデル事業の成果についての中間的な検証を行うとともに、就労困難者の就職支援の経済・財政・社会保障収支への影響についてのシミュレーションを行う。年 4 回程度開催。

(4) 海外の状況整理部会

海外の状況及び日本との国際比較を整理・分析する部会を開催する。2021 年度は、2019 年度、2020 年度の基礎的検討を踏まえ、企画委員会等の注文を踏まえ、掘り下げた検討を行う。年 4 回程度開催。また、オランダ、デンマーク等を候補として海外調査を実施する。

(5) 態様の異なる就労困難者の横断的支援検討部会

2020 年度、21 年度において、就労に関して困難や課題を抱える「ひきこもり者」、「難病患者」、「刑余者」、「LGBT」のそれぞれの分野ごとに、有識者を講師に招いて、現状の分析や課題、今後に向けての提案などの話を伺うヒアリングの場を設け検討を行ってきた。こうしたヒアリングを踏まえ、それぞれの分野の就労支援に向けた困難の背景や課題を踏まえつつ分野横断的な支援策の検討を行う部会を開催する。2021 年度は、年 4 回程度開催し、概況的整理を行う。

(6) WORK! DIVERSITY ネットワーク構築検討部会

現在、企画委員会で検討している WORK! DIVERSITY 地域プラットフォーム、WORK! DIVERSITY 推進フォーラムの具体化に向けた検討を行う部会を開催する。2021 年度は、課題を整理するとともに、プラットフォーム・推進フォーラムの実現プランを提示する。

(7) 有識者ヒアリングの実施

分野ごとの課題、問題点を整理するため、各分野の専門家に対する有識者ヒアリングを実施する。全体委員会、企画委員会、各部会のメンバーには参加を勧誘する。年 6 回程度開催。

(8) 日本財団 WORK! DIVERSITY カンファレンスの開催

ダイバーシティ事業の中間報告。2021 年度の事業成果を公表し、ダイバーシティ就労の考え方を広めることを目的としたカンファレンスを開催する（オンライン形式）。なお、有識者講師によるミニカンファレンスを数回開催する。

(9) 障害者就労支援機関に係る実態調査の実施

2020 年度に実施した「就労支援機関に係る実態調査」結果を踏まえ、障害者就労支援機関（就労継続支援 A 型事業所、就労移行支援事業所等）に対し、就労支援の実態、特に、障害者以外の多様な働きづらさを抱える者に対しても支援を実施しているか、今後の実施を検討しているか、アンケート調査を行なう。なお、調査票の内容・項目等については、全体委員会、企画委員会、各部会等で協議の上決定する（就労継続支援 A 型事業所約 3800、就労移行支援事業所約 3000、就労定着支援事業所約 1300 等）。

(10) ダイバーシティ就労プロジェクト 地域プラットフォーム創出モデル事業に関する予備的調査

2021 年度に計画している大阪府と連携した WORK! DIVERSITY モデル事業を実施するための予備的調査として、①アンケート調査による地域プラットフォームの課題等の整理、②研究会、ヒアリング等による想定される機能・役割の整理、を行う（2021 年 4-6 月実施予定）。A ‘ワーク創造館に委託予定。

(11) ホームページを通じた情報提供の充実強化